



春を迎える準備

校長 小林 理人

今年は2月3日が立春、例年よりも1日早い春の始まりです。二小の梅のつぼみも膨らみ始め、春を迎える準備が始まっています。先週は書き初め展があり、感染症対策等ご協力をいただき、たくさんの保護者の皆様に子供たちの作品を見ていただきました。子供たちの力作を通して、一人ひとりの頑張りや1年間の成長をお伝えすることができました。

そして、何よりうれしかったのは、今年も昨年に引き続き、全員の作品を展示することができたことです。冬休み中を含め、温かい言葉で励まし、支えてくださった保護者の皆様に感謝いたします。

先日行われた全校朝会で各学年の金賞に選ばれた子供たちに賞状を渡しました。また、銀賞は教室で担任から賞状を渡しました。各学年の金賞、銀賞の児童は裏面に紹介いたします。

学校生活を振り返って

学校にとっての春を迎える準備は、来年度に向けての計画づくりです。今年度はコロナ禍で学校の様子がお伝えすることが難しい中、保護者の皆様には学校生活アンケートにご協力をいただきました。また、自由記述の中では、子供たちや私たち教職員に対して、たくさんの温かい励ましや労いの言葉をいただきました。この場をお借りして感謝申し上げますとともに来年度の計画に活かして参ります。

昨年末、学校生活を振り返るために、子供たちを対象にした学校生活アンケートを実施しました。その結果についても、保護者の皆様からいただいたアンケート結果とともに別紙にまとめたのでご覧ください。また、「学校生活をさらに楽しくするための調査」として、学校生活の心配や不安を把握する調査も行いました。私たちにとっては子供たちの回答から子供たちの実態だけではなく、私たちの指導の在り方や学校の体制を振り返る大切な調査です。

その中で、65人からいじめにつながる可能性がある回答がありました。また、24人から暴力、暴言に関する不安や不満の回答がありました。こうした子供には担任を中心に私を含めた教員が対応に当たり、不安や不満がある子供の話を聞いて、場合によっては保護者の皆様にもご協力をいただき解決にあたっています。今のところ重篤ないじめや、体罰にあたる不適切な指導の実態はありませんでしたが、様々な問題を解決することで、私たちの指導や学校の体制を見直すきっかけとなりました。

また、学校生活アンケートの中で「学校が楽しい」「自分にはいいところがある」の2つの項目で否定的な評価をした子供たちには、担任が話を聞いたり、気にかけて見守るようにしたりしています。コロナ禍で例年になく不安やストレスを抱えながらの生活が続くことへの対応です。子供たちの不安やストレスに向き合い、一緒になって解決しながら、新学期を迎える準備を進めていきます。

今後、皆様からいただいたアンケートの結果や、子供たちを対象に行った調査結果とその対応で見えてきたことをもとに具体的な計画を立てていくことになります。そして、新年度の計画については、3月の学校だよりや保護者会での説明を予定しています。

立春を迎え、暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続きます。4月から始まる新しい生活に向けて、みんなが笑顔でスタートができるよう、感染予防対策を講じながら必要な準備を進めていきます。

